

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●和田竜二騎手がJRA通算1万9000回騎乗を達成

8月29日(日)の2回札幌6日・第9レースとして行われた小樽特別でラブサンキューに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上7人目、現役では6人目となるJRA通算1万9000回騎乗を達成しました。

●サマーシリーズ、いよいよ大詰め

本年のサマーシリーズも大詰めを迎えています。サマースプリントシリーズはCBC賞(GⅢ)1着、テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)2着のファストフォース(15ポイント)、サマー2000シリーズは札幌記念(GⅡ)を勝ったソダシ(12ポイント)、サマーマイルシリーズは米子S(L)と関屋記念(GⅢ)を制したロータスランド(20ポイント)がそれぞれ首位に立ち、各シリーズとも1戦を残すのみ。9月5日(日)にはサマー2000シリーズ最終戦の新潟記念(GⅢ)、9月12日(日)にはサマースプリントシリーズ最終戦の産経賞セントウルS(GⅡ)およびサマーマイルシリーズ最終戦の京成杯オータムハンデキャップ(GⅢ)が行われます。なおサマージョッキーズシリーズはCBC賞1着などで26ポイントの鮫島克駿騎手を、24ポイントの川田将雅騎手らが追う展開となっています。

●テオーエナジーの競走馬登録抹消

2018年兵庫チャンピオンシップ(園田・JpnⅡ)の勝ち馬テオーエナジー(牡6歳/栗東・宮徹厩舎)は、8月20日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算22戦4勝・地方4戦1勝で、今後は地方・園田競馬に移籍する予定です。

●ドゥラメンテが死亡

8月31日(火)、種牡馬ドゥラメンテ(牡9歳)が、繋養先である北海道安平町の社台スタリオンステーションにて急性大腸炎のため死亡しました。2015年に皐月賞(GⅠ)と日本ダービー(GⅠ)を制して同年のJRA賞最優秀3歳牡馬を受賞した同馬は、JRA通算8戦5勝・海外1戦0勝の成績を残して2016年に引退、種牡馬入り。初年度産駒である現3歳には報知杯弥生賞ディープインパクト記念勝ち馬タイトルホルダーなどがいます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ラブタスがサマーチャンピオン(佐賀)を圧勝、JpnⅢ 4勝目

サマーチャンピオン(JpnⅢ、9月1日、佐賀、1400m)は、先手を取ったラブタス(鮫島克也騎手=佐賀、騏5歳、父ディープブリランテ)がサクセスエナジーを7馬身引き離して圧勝、単勝1.7倍の支持に応えました。2番人気のコバノキッキングが3着、3番人気のイメルが4着と、4頭出走したJRA勢が上位を独占しています。

●秋華賞ステップ競走の紫苑S(中山)に岩手のキョラが登録

紫苑S(GⅢ、9月11日、中山、3着以内は秋華賞の優先出走)にキョラ(岩手)が登録しました。盛岡で芝のオパールCを制していますが、JRA在籍時に芝で2戦して新馬戦13着、未勝利戦12着という成績から、GⅢではちょっと荷が重そうです。

●サッポロクラシックCはリコーヴィクター【各地の主要2歳重賞】

サッポロクラシックC(8月26日、門別、1700m)は、4番手から一旦は後退した2番人気のリコーヴィクター(牡、父クリエーターⅡ)がゴール前で差し切り、レコード勝ちを収めました。

●JRA出身のトーセンジェイクが三冠阻止【各地の主要3歳重賞】

黒潮菊花賞(8月29日、高知、1900m)は、中団から追いつけた3番人気のトーセンジェイク(牡、父ローズインメイ)が、先に抜け出した単勝1.1倍で圧倒的人気の高知二冠馬ハルノインパクトをゴール寸前で内から捉え、三冠達成を阻止しています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1トラヴァーズS~エッセンシャルクオリティが競り勝つ

8月28日に米国ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2000m)はL.サエス騎手の手綱で2番手でレースを進めたエッセンシャルクオリティ(牡、父タビット、B.コックス厩舎)が逃げ粘るG1ブリークネスS2着馬ミッドナイトバーボンとの競り合いをクビ差で制して優勝しました。エッセンシャルクオリティは2歳時のG1ブリーダーズCジュヴェナイル(ダート1700m)とG1ブリーダーズフューチュリティ(ダート1700m)、そして今年6月のG1ベルモントS(ダート2400m)に続く4つ目のG1制覇。通算成績は9戦8勝で、唯一の敗戦はG1ケンタッキーダービー(4着)です。

●G1ソードダンサーS~グーフォが2つ目のG1勝ち

上記トラヴァーズSの1レース前に同じサラトガ競馬場で行われたG1ソードダンサーS(4歳上、芝2400m)はJ.ロザリオ騎手を背に後方待機から3コーナー過ぎで動いていったグーフォ(牡4歳、C.クレメント厩舎)が一昨年のG1インターナショナルS勝ち馬で、アイルランドから遠征したジャパンの追い上げをクビ差のいで優勝しました。グーフォは日本軽種馬協会静内種馬場で供用中のデクラレーションオブウォーの産駒。昨年10月のG1ベルモントダービー招待S(芝2000m)以来2つ目となるG1制覇となりました。